

第15回学術集会報告

第15回日本腎臓リハビリテーション学会学術集会

会長 小林 修三

湘南鎌倉総合病院 院長

2025年3月15(土)-16日(日)の2日間、第15回日本腎臓リハビリテーション学会学術集会をパシフィコ横浜会議センターにて開催致しました。本会はテーマを「楽しいから始める腎リハ〜ウェルビーイングな暮らしを求めて」としました。腎臓リハビリの課題の一つに、リハビリの継続率を上げることがあり、そのためにも、「楽しみながらリハビリを行うこと、生活のなかに取り込むこと」が重要であると考え、テーマを定めました。

本会では、1802名と非常に多くの方々にご参加いただき、一般演題では口演・ポスター併せて234演題ご発表いただきました。プログラムにつきましては、「楽しいから始める」ことに着目し、特別企画を合計16題企画しました。特別招請講演・特別講演では、藤田浩之キャノンヘルスケア USA 会長、黒岩祐治・神奈川県知事をはじめ様々な分野から計8名のゲストスピーカーをお招きし、「Well-being な社会の実現」を考える絶好の機会となりました。

新たなアプローチの一つとして、リハビリにおける音楽の力に鑑みて、日本音楽療法学会と協力した特別講演・ジョイントシンポジウム等を企画し、好評を博しました。また、リハビリを行ううえでフットケアの重要性を考慮し、フットケアに関する企画も多く設けました。さらに、関節・血管エコーのハンズオンセミナー、再生医療・スポーツ医療等に関するセッションを新たに企画しました。他のプログラムにつきましては、大会長講演、理事長講演、シンポジウム、特別・ジョイント・会長企画・共催各シンポジウム、国際腎臓リハビリテーション学会、YIA セッション、教育講演、よくわかるシリーズ、ハンズオンセミナー等多岐にわたる内容を企画し、会員懇親会では約300名が参加し、鎌倉ワインとJAZZ演奏で盛況を呈しました。

最後に、学術集会主催の機会を頂きましたことに深く感謝するとともに、本学会の益々の御発展を心より祈念いたします。

